

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 23-004)

1 4月12日から18日までの台湾訪問団を率いるマーシャル諸島のキトラン・カブア外務・貿易大臣は、蔡英文総統との会談において、台湾が国連その他の国際機関に加盟することを引き続き支援し、地域と世界の平和と安全を損なう如何なる台湾への脅迫行為を「強く非難する。」と述べた。

蔡英文総統は、カブア氏とマーシャル諸島政府が、国連総会や世界保健総会を含む複数の国際フォーラムの場で台湾を支持する意見表明を行ったことを含め、台湾の国際参加に関する同国の継続的な支援に謝意を示し、台湾とマーシャル諸島が近年協力関係を深め、医療、農業、教育分野などで顕著な成果を上げていると述べた。総統はまた、昨年の大統領訪台時に発表された気候変動適応準備基金を活用した持続可能な開発に向けた覚書について、今回のカブア大臣の訪台中に署名すると付け加えた。

両国は農業分野ではイバイで集落営農を組織し、地域農業の発展を促進している。また、今年は昨年より4人多い12人のマーシャル諸島の学生に台湾留学奨学金を授与したと総統は発言した。

[原文](#)

(14th April 2023, PACNEWS)

2 パラオのウィップス大統領は豪州の AUKUS 参加を支持し、「豪州は太平洋最大の島であり、太平洋を保護する責務がある。自由なインド太平洋を望んでいる。用意周到でないと戦争になる可能性がある。我々は国際社会の一員であり、ウクライナで起きていることは私たちの信条に反する。」と述べた。

一方、「太平洋エルダーズ」(※太平洋島嶼国の元大統領、元首相、元 PIF 事務局長などで構成する独立グループ)は AUKUS が「軍拡競争を引き起こし、戦争をより我々に引き寄せてしまっている。」と反対する声明を出しており、AUKUS と太平洋の軍事化に割り振られた 3 千億ドルが「気候変動対応への支援を求める太平洋島嶼国の目の前を通り過ぎて行ってしまっている。」としている。

[原文](#)

(14th April 2023, Island Times)

3 5月29日・30日に史上初となる韓国・太平洋島嶼国サミットがソウルで開かれる。太平洋諸島フォーラム (PIF) の 18 の国・地域すべての首脳が参加する。首脳らは、初日に首脳会議及び韓国の尹大統領夫妻が主催する公式晩餐会

に出席し、2 日目は釜山で様々なイベントに出席する。別途、首脳配偶者向けプログラムも催される。大統領室は、「このサミットは戦略的重要性が高まっている太平洋島嶼国との協議メカニズムを最高レベルに格上げし、太平洋島嶼国の実際の需要に基づく協力を拡大することで、韓国政府がインド太平洋戦略を本格的に実行していくことを示すものになる。」と述べ、「気候変動、災害対応、地域開発などの太平洋島嶼国が直面する課題の解決に貢献し、共同繁栄を追求することは、韓国の外交的地位を引き上げるだろう。また、2030 年釜山万博の誘致に向けた国際社会からの支持を強化する機会となることを期待している。」と付け加えた。

[原文](#)

(18th April 2023, Yonhap News)

4 台湾海軍の「友好艦隊」は4月17日から19日まで、パラオを訪問している。台湾海軍による16回目のパラオ親善訪問となる。同艦隊は士官候補生航海訓練隊を率いて17日月曜日にマラカル港に寄港した。パラオのウィップス大統領と在パラオのジェシカ・リー台湾大使の共催により、同港にて歓迎式典が開かれた。約800人の海軍関係者で構成されている。同艦隊は近年、東南アジア、太平洋島嶼国、中東、アフリカ、中央アメリカその他の世界各地を航海している。2016年以来、パラオ人数名が台湾海軍学校を卒業している。19日朝の旗揚げ式の後、次の目的地に向けマラカル港を出港する予定である。

[原文](#)

(18th April 2023, Island Times)

5 パラオのウィップス大統領は、新たな公安局長に米国の退役軍官であるキャリー・L・レイヴトレ氏を任命した。選任プロセスに係るメディアからの問い合わせに対して、大統領府からの回答はなかった。レイヴトレ氏は非パラオ人として初の公安局長である。アイランドタイムズに提供された履歴書によると、レイヴトレ氏は米国内及び国際的なK9（※警察犬チーム）プログラムにおいて長い実績があり、また、核兵器、化学兵器、生物兵器の取扱い、セキュリティについて15年以上の経験を有する。太平洋での勤務経験はないが、ヨーロッパと米国で勤務経験がある。

[原文](#)

(21st April 2023, Island Times)

6 豪州の外務大臣はニューカレドニアを訪問し、米中対立に直面する中、太平洋島嶼国に結束を維持するよう求めた。ニューカレドニア大統領は豪州のAUKUSの原子力潜水艦計画に懸念を表明している。外務大臣の訪問先は、ニューカレドニアを含め、太平洋島嶼国を分断する安全保障協定への署名を中国から求められている国々と一致する。ソロモン諸島は太平洋島嶼国の中で唯一中国と安全保障協定を締結しており、バヌアツ、フィジー、パプアニューギニア、ソロモン諸島、ニューカレドニアからなる独立組織であるメラネシア先鋒グル

ープに対し、中国を含む準地域的な安全保障の枠組みを創設するよう求めている。

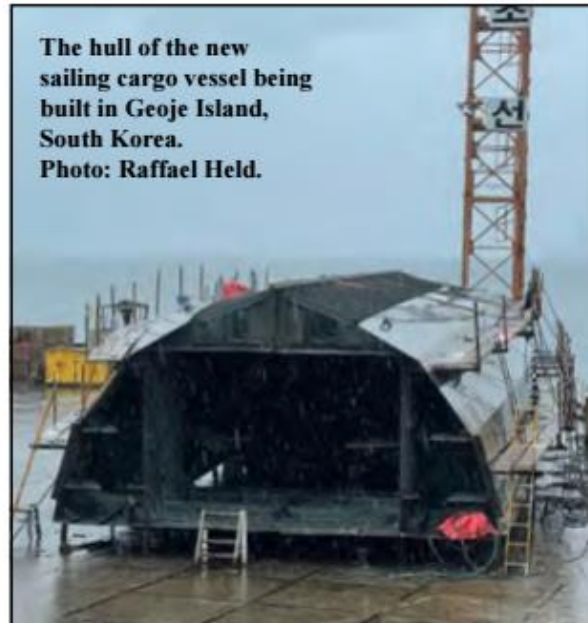
[原文](#)

(20th April 2023, Reuters)

7 韓国の巨済島にあるアジアシップビルディングの造船所において、マーシャル諸島海運会社 (MISC) 向けに 150 フィートの低炭素化貨物船が建造されている。マーシャル諸島海運会社は、ドイツ連邦共和国の環境・自然保護・建設・原子炉安全省が資金提供する低炭素海上輸送プロジェクトのパートナーである。この船舶は今年の終わりにマーシャル諸島に到着する予定である。

[原文](#)

(21st April 2023, The Marshall Islands Journal)



**The hull of the new sailing cargo vessel being built in Geoje Island, South Korea.
Photo: Raffael Held.**

Sailing vessel taking shape

KAREN EARNSHAW

News just in from Geoje Island, Busan, South Korea is that the Low Carbon Sea Transport Project Director Raffael Held enjoyed an initial visit to the shipyard Asia Shipbuilding where a 150-foot sailing cargo vessel is being built for the Marshall Islands.

“Geoje Island is one and a half hours drive southwest of the coastal city of Busan,” Raffael said. Asia Shipbuilding is working with the design office Kostec, also based in Busan. “They have started with the construction of the low carbon sailing cargo vessel for the Marshall Islands Shipping Corporation.”

MISC is a partner of the IKI/BMUV (German Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Nuclear Safety and Consumer Protection) funded project Low Carbon Sea Transport. The ship is scheduled to arrive in RMI at the end of this year.

“The ship will have innovative and highly efficient technologies on board to provide reliable and cost-efficient shipping services to the neighboring islands in 2024,” Raffael wrote in a release. “The ship will furthermore serve as a research and training platform.” The hull is being built upside down in multiple sections and it will be flipped over by a crane in mid-May in the so-called “keel laying event.”